

1 計画の達成状況の評価

1-1 数値目標

全体方針「誰もが利用できる 利用しなくなる公共交通網の形成」とそのために目指す姿の実現のため、各基本方針に対して数値目標を設定し、本計画を着実に実行します。

目標については、目指す姿に対して項目を設け、それぞれが地域や利用者にとって快適で使いやすいものとして認知され、より多くの人々に利用される公共交通網に向かっているかを検証します。

表：評価指標と目標値一覧

基本方針	番号	評価指標	数値目標	
			現況値	目標値 2024年度 (令和6年度)
I 既存のニーズと交通機関を活かした基幹交通の再編	①	路線バスの年間利用人数 (路線バス利用者数) ※事業者データによる	241,195人/年 ※2017年度(平成29年度)	250,000人/年
II 幅広い交流を目指した公共交通網の形成	②	実証運行の満足度 ※利用者アンケートによる ※5段階評価	-	3.5
III 持続可能な公共交通の推進	③	バスの現状に対する満足度(総合評価) ※利用者アンケート調査による ※5段階評価	3.2 ※2019年度(令和元年度)実施	3.5
IV 地域の特性に応じた交通モードによる支線交通の形成	④	交通空白地域解消に向けた施策として、支線交通を導入・改善した新規案件	-	1件以上